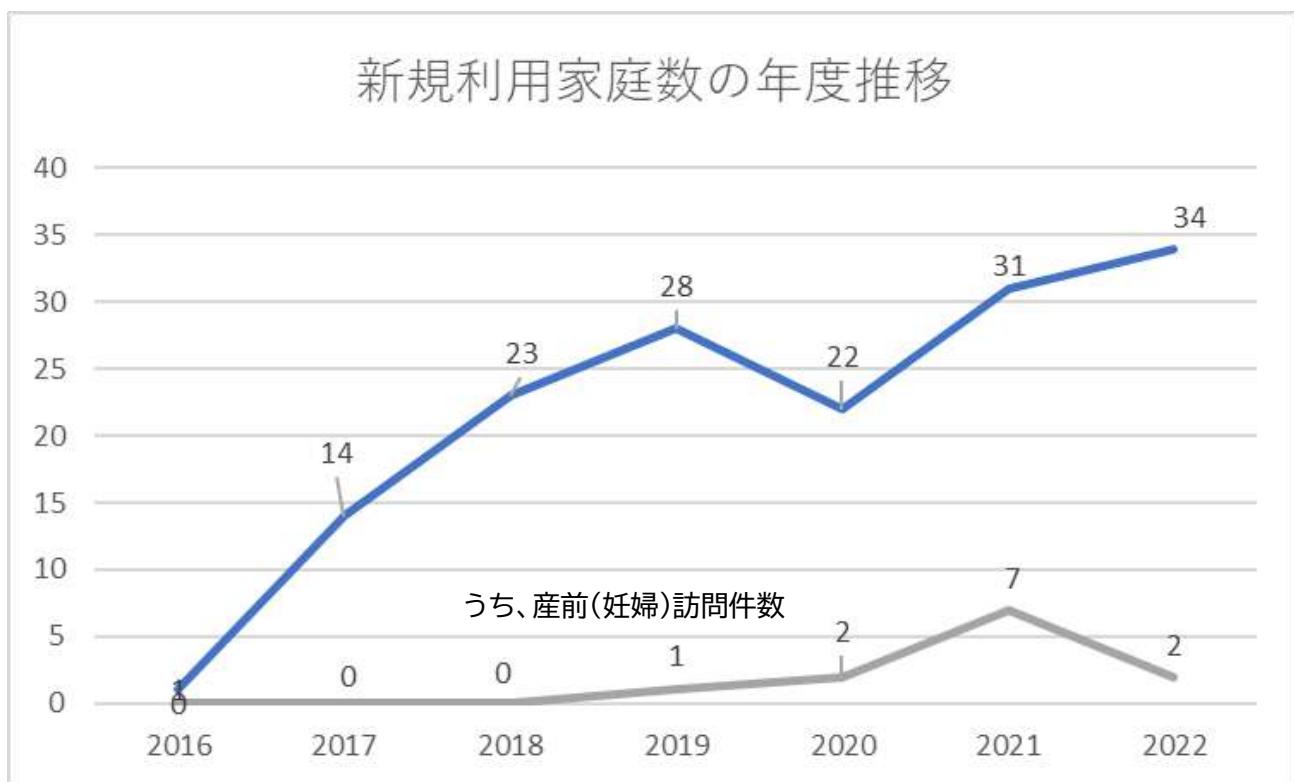


データで見るHS・わくわくの2022年度

1・訪問活動について

- 2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)、新たに34家庭を訪問し、45人のお子さんと関わりました。前年度から継続して訪問した家庭と合わせると40家庭、57人のお子さんと関わりました。これは過去最高の件数です。うち2家庭は妊婦、4家庭は外国ルーツ、4家庭がシングル、3人の利用者がメンタルヘルス不調、DVや虐待の問題を抱えた家庭もありました。一方、訪問できるビジターがないため訪問できず、途中終了になってしまった家庭が1件ありました。地域性が関係しており、利用希望が多いわりにビジターが少ない南大塚でこのような事態が起きております。
- 北大塚、上池袋、池袋本町、池袋地区でもビジターが少ない傾向があります。
- のべ訪問回数はOG、HVあわせて218回です。



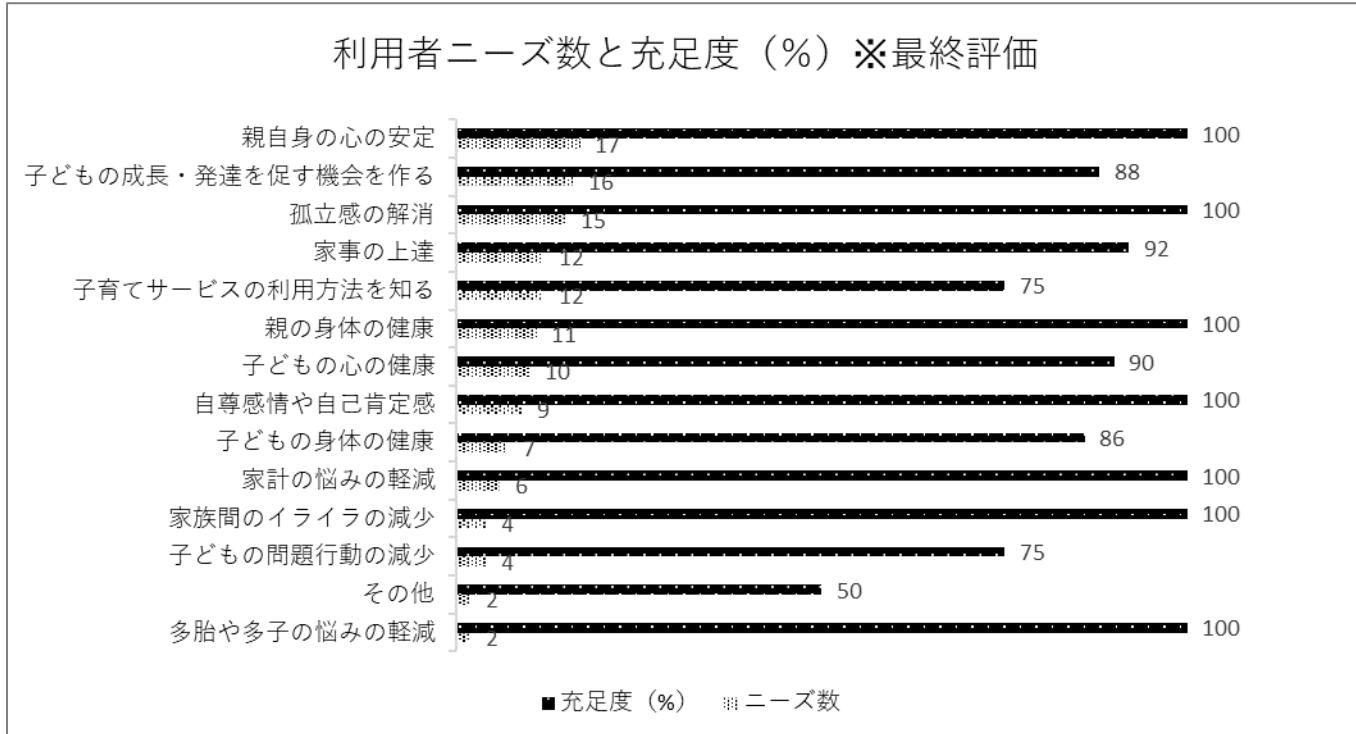
- ホームスタートを知ったきっかけについては・・・
ほとんどが、人から聞いた、と答えています。
保健所から、が最も多く、子ども家庭支援センターや区民ひろばから、が次いで多くなっています。
再度利用（産前・産後も含む）は6件でした。また、他スキームからの紹介も1件ありました。
- 近年、利用時間に変化があります。開始当時は平日昼間が多かったのですが、5年ほど前から、夕方や土日祝日希望が増えています。これは、働きつつ子育てする利用者や配偶者が土日祝日も働いている利用者が増えた事によると考えられます。実際、2022年度新規利用34家庭のうち、夕方（16時以降や保育園お迎えから等）9家庭、土日祝8家庭となっています。つまり、約半数が土日や夕方を希望しています。私たちはビジター養成講座を、日曜日を含めた日程で開催しており、利用者のニーズに合わせたボランティア養成を目指していますが、夕方対応が難しい状況です。

● どんなニーズが多かったのか、というと・・・

「親自身の心の安定」がニーズ全体の 74%を占めていて最多となり、訪問による充足率が 100%となっています。

「子どもの成長・発達を促す機会を作る」は 2 番目に多く 70%で充足率は 88%、3 番目の「孤立感の解消」は 65%で充足率は 100%です。ニーズの全体像については以下のグラフをご覧ください。

充足率の全体平均が 92%と高く、傾聴や協働による効果が出ていると思われます。



訪問後のアンケートの回答を一部、紹介します。

・「本当にありがとうございました。どうしてもっと早く利用しなかったんだろう。どういうときに声をあげたらいいか分かってなかったなと思いました。また利用します。」（0歳男児のママ）

・「公園でビジターさんに慣れてきた娘が高い高いをしてもらってとてもうれしそうにしている姿が一番印象に残っている。一人で子どもの面倒を見ている状況ではなかなかできないのでうれしかった。」（3歳女児、0歳女児のママ）

2・訪問以外のスキームの活動について

● ビジター向けアンケート

2022年4月にビジター向けアンケート実施、研修ニーズなどを把握しました。

● 活動報告会 2022年6月12日

栗林理事長と子育て支援課・安達課長の対談、利用者とHVの対談を行いました。会場参加11人とオンライン参加19人の合計30人（うちHV12人）。

● HV養成講座

2022年7月～8月に開催、4人の新規ビジター登録。

2022年7月に産前HV養成講座を開催、9人の新規産前ビジター登録。

● トラステイ会議 8月19日、2月10日

● HV交流研修会

2022年4月、5月、7月、9月、10月、12月、2023年1月（ZOOM、リアルにて）HV、OGのべ**30人**。

6月は活動報告会、8月はホームビジター養成講座、11月はビジターデーのため休止。

● HSJ関連

2022年5月 HSJ総会、研修会「みんなで作戦会議」に参加（OG3人）

2022年7月 HS関東エリア協議会 研修会（ZOOM）

「ポピュレーション・アプローチとしてのホームスタート～医療・保健・福祉の立場から～」

2022年9月 HSJ外国人家庭支援講座実施

2022年11月 東京HVデー「今どきのオンライン両親学級」

弓削 美鈴先生 東京助産師会江東地区分会（OG3人、HV3人）

年間を通して、HSJの外国人支援、広報、ファンドレイジング、HS東京推進協議会にかかわりました。

●ひろば等での広報活動

2022年度は**区民ひろば南大塚**で毎週木曜日、**池袋本町プレーパーク**のおそとカフェにOG3人が交代でのべ**80回**参加しました。民生・主任児童委員が主催する「としま子育てサロン」9か所にも参加させていただきました。

子ども家庭支援センター主催「豊島区制90周年記念 オレンジリボンフェスタ」（10月～12月）に協力しました。

●問合せ・相談対応

- ① 文京区の女性から、育休中だがワンオペ育児で疲れているから利用したい、という連絡がありました。
- ② 豊島区内の外国人ご夫婦の家に新生児の沐浴を実施しました。
- ③ 豊島区内の外国人シングルマザーには妊娠中から産後までかかわりました。ケース会議にも参加し、食糧のサポートはじめ様々な支援を実施しました。
- ④ 北区の女性から、子どもが3人いるが夫は長時間労働でワンオペ育児なので手伝ってほしいと連絡がありました。
- ⑤ 北区の妊娠中の女性から、保育園入園のことを知りたいと連絡がありました。
- ⑥ **豊島区内**の男性から、早産で生まれた子が医療機関を退院するが妻が行けないので同行してほしいと連絡がありました。
- ⑦ **豊島区内**の女性から、親子とも発熱あるので手助けが欲しい、と連絡がありました。
- ⑧ 豊島区内の元利用者1人（子ども2人）とは継続的に連絡を取り続けています。

●SNS等による広報活動

インスタグラムで情報発信、毎週1回は更新するようにしています。Facebookとの連動もしています。

LINEの公式アカウントを試行中。

7月、津田塾大学フィールドワーク基礎の授業で、OG荒砥、浜、加藤とHV1人、利用者3人がインタビューを受けました。この事業は次年度も予定しています。

10月～11月 東京大学4年生の卒論で、OG1人とビジター2人がインタビューを受けました。

●その他のプロジェクト

地域がつながるプロジェクト（豊島区、WAKUWAKU）の訪問員としてHS・わくわく関係者7人が参加しています。

●2月5日 「豊島区制90周年記念 ビジターと利用者交流会」

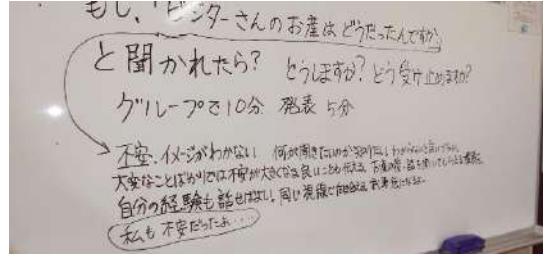
OG、ビジター、利用者の交流会をWAKUWAKU祭りにて実施。ビザター12人、利用者親子5組12人が参加しました。好評につき、今後も検討します。

以下、活動写真を掲載します。

2022/6/12
活動報告会



2022/7/2、
10
産前ビズタ
ー養成講座



2022/7/24
~8/31
ホームビズタ
ー養成講座



2022/11/1
9
東京ビズタ
ーデー



2022/10 ~
12
オレンジリボン
フェスタ協力



2023/2/5

WAKUWAKU 祭り内ビジターと利用者交流会

